

ドキュメンタリー映画『かけはし』上映会のご案内

国を超えて
人は誰もが心と心を繋ぐ
かけはしとなれる！

かけはし

空前の韓流ブームから、反韓・嫌韓のヘイトスピーチへ。この10年あまり、愛と憎悪のはざままで激しく揺れ動いてきた日韓関係だが、そんな喧噪から離れたところで、ひっそりと、しかし着実に受け継がれている国際交流の絆がある。

2001年1月26日、JR新大久保駅で、線路上に転落した日本人を助けようと、カメラマンの関根史郎さんと韓国人の日本語学校生のスヒョン（李秀賢）さんがホームから飛び降り救助にあたったが、3人とも帰らぬ人となった。スヒョンさんが外国人であったことから、この事件は大きな話題を呼び、来日したご両親のもとには日本全国から弔慰金が寄せられた。

ご両親は深い悲しみの中で、生前「日韓のかけはしになりたい」と言っていた息子の遺志を継ぐため、アジアからの日本語学校生を支援する奨学会の設立を関係者に懇願し、受け取った弔慰金を寄付した。こうして、母国と日本のかけはしになることを夢見て来日したアジアの若者を支援する奨学会が発足し、スヒョンさんの頭文字をとって特定非営利活動法人 LSH アジ

ア奨学会と名付けられ、これまでに18の国と地域から来日した844名の留学生に奨学金を手渡してきた（2017年10月現在）。

日本の小学校の教科書にスヒョンさんのことが掲載され、2015年6月にはご両親に対し、これまでの活動を顕彰して日本政府より「旭日双光章」が授与された。

本作品『かけはし』第1章では、関係者インタビューによってスヒョンさんの人生を浮かび上がらせると共に、彼の死後、ご両親と同奨学会が行った留学生支援活動や奨学金を受けた留学生の姿を描いている。

第2章では、日韓国交正常化から50周年を迎えた2015年に来日した韓国の大学生の、日本の学生との交流や、歴史的に朝鮮半島と縁の深い、奈良県の明日香村でのホームステイを通して、民間交流をしながらスヒョンさんゆかりの地を訪れる旅を追っている。

※本作品は2作品上映となります。（上映時間：第1章42分+第2章53分）



企画・製作・統括プロデューサー：中村里美 製作・プロデューサー：伊藤茂利 ディレクター：中村柗斗 ナレーション：牛島摩弓
予告編・日本語字幕：柴田誠 アドバイザー：長谷川直樹・石川均・倉本和人 音楽：伊藤茂利 製作・配給：ミューズの里
撮影形態：ビデオデータ撮影 公開形態：DLP Blue Ray公開 公開：2017年2月より劇場公開 主題歌「かけはし」作詞・作曲・歌：中村里美

<http://kakehashi-movie.net>